

元宇品エリア

スポット & ジョギングマップ

グランドプリンスホテル広島に隣接する元宇品公園は貴重な自然の宝庫。神社や海岸遊歩道を散策しながら、ジョギングやウォーキングを楽しんでみませんか？

自然観察や歴史観察に最適な元宇品。宮島の厳島神社鳥居の再建や修理、高射砲陣地の構築、戦後の畑作のため、大規模な伐採を受けましたが昭和25年(1950)に瀬戸内海国立公園特別地域に指定され森は瀬戸内の温暖な気候のもと、修復再生していきました。復活した奇跡の森は、市民の憩いの場所として親しまれています。

コースA (Course A) (往復)	コースB (Course B)	コースC (Course C)
4.0Km	1.5Km	3.2Km
ウォーキング 60分 260kcal	ウォーキング 30分 130kcal	ウォーキング 70分 260kcal
ジョギング 30分 280kcal	ジョギング 10分 240kcal	ジョギング 30分 290kcal

高射砲陣地跡(赤トンボ広場)

かつて、ここは太平洋戦争中に陸軍船舶司令部兵隊が作った高射砲台と機銃砲台があり八八式7cm高射砲がいくつか配備されていますが、瀬戸内海国立公園に指定された際に、道路や公園を作るため高射砲陣地を埋めたり削り取ってしまい、現在残っている遺構は、むき出しとなったコンクリートの基礎や石造りの階段のみです。

コンクリート製の遺構

夕日の絶景スポット

レンタルウェア・シューズ貸出しサービス

- シューズ(S/M/L) 1足 ¥500
※ S: 23.5 ~ 24.0 / M: 24.5 ~ 25.0 / L: 25.5 ~ 26.0
- ショートパンツ(S/M/L/XL) + Tシャツ(M/L) 1セット ¥1,000
※Tシャツはお持ち帰りいただけます。

ご利用のお申し込みは、1Fフロント横ベルデスクにて承ります。

掲載文・写真引用元：元宇品ミニガイドブック・公式ホームページ(アース・ミュージアム元宇品 構想推進委員会)、みなみ区に行く(広島市南区役所地域こし推進課)

住吉神社

四面海に臨む島であり、海運業を営む元宇品島住民の海上の平穏と航海の安全を祈念して享保2年(1717)に住吉の神を勧請し建立。遷保姫神社の分霊です。

観音寺へは住吉神社と常夜燈の間を進み、階段を上ります。(急な階段と右手にゆるやかな階段があります)

常夜燈

かつてここが海岸線であったことがわかる石灯籠。海岸線の石垣も残っています。

横綱 安芸の海の墓

広島の子出身相撲力士「安芸の海(本名：永田節男)」のお墓。70連勝中の無敵横綱双葉山を倒したことで一躍有名になりました。

観音寺へはこのルートでお進みください

観音寺と広島橋

毛利の家臣坂本宗味が観音院を建立(のちに観音寺)。境内には浅野長晟夫人であった姫が愛したとされる広島橋がありその奥には海地蔵の横にあったとされる「大方廣佛華嚴經」の大字を彫った塔石が海から引き上げられ、安置されています。半鐘は昭和40年(1965)から2年間8月6日の平和記念式典で平和の鐘として鳴らされました。

観音寺 塔石

海地蔵

江戸時代、このあたりの海中に海地蔵が建てられていました。地蔵尊は台座の上に東北に向かって安置されており、台座の左側には自然石に大文字を彫った塔石が立っていました。長い間の波の浸食や暴風のため、地蔵尊も碑文も倒壊して、海中に沈んでいましたが、塔石は大正7年(1918)に引き上げられ観音寺に、地蔵尊は昭和40年代に引き上げられ、当時入り江になっていた波止先に祠を建て安置されました。入り江はその後、埋め立てられて公園となり、地蔵尊はほぼその位置に安置されています。現在でも地元の方が安全祈願に訪れています。

海地蔵 建立時の想像図

カゴノキ(クスノキ科)

「鹿児の木」とも書くように、樹皮の鹿の子模様美しい雌雄異株の常緑樹です。樹皮は部分的に剥がれていき新しく剥がれたところは白く見えます。暖地に生える高木で瀬戸内海沿岸や島に多く見られます。

海食崖

約6000年前の縄文時代の海面上昇の証拠となる海食崖や波による浸食でできた海食洞など、珍しい地質が見られます。目前の安芸の小富士「似島」を望みながら深呼吸してみましょう。

海食崖 似島

大クスノキ

灯台に寄り添うように立ち、枝を広げる見事なクスノキ。広島県の巨木リストにも掲載される有名な樹木で、終戦直前に高射砲陣地が構築された際にも伐採されることなく、今も残っています。

大クスノキ

グランドプリンスホテル広島

海岸散策コース

灯台前広場

宇品灯台

昭和25年(1950)に旧宇品島南端信号塔に灯器を設置し、運用が開始された宇品灯台は元宇品の代表的な景観となっています。地上からの高さは約21メートルあり、使用されているレンズは、明治28年(1895)にフランスで製造された「第6等閃光レンズ」で、国内に2台のみ現存する最古のレンズです。

宇品灯台

節理

海岸散策コースには、地質の観察ポイントが複数あります。「節理」はマグマが冷えて固まる時に岩石が収縮してできる規則的な割れ目のこと。風化が進み、縦横の規則的な割れ目でサイコロ状になっています。

節理